

入試制度を賢く活用！ 受験制度活用シミュレーション

新しく始まった2つの注目制度を、どのような受験生が利用できるか具体例で紹介します。

Case 01 公募制推薦からS特待生を目指す

日々の学習の積み重ねが、
4年間の大きな支援に直結



高校生活でコツコツと積み上げてきた学習成果を活かしたい人にぴったりの方式です。今年度より、公募制推薦（11月実施）にも「S特待生」の枠を新設。特別な対策ではなく、日頃の授業や定期テスト対策で磨いた基礎学力をベースに、年内の段階で手厚い学費支援を勝ち取ることが可能になりました。

Case 02 特待生選抜B方式で国公立大と併願

共通テストの成果を活かし、
学費負担を最小限に



国公立大学を第一志望としながら、私立大学でも質の高い研究環境を確保しておきたい受験生に最適です。12月の「面接（オンライン可）」で、まずはあなたの「バイオへの意欲」を評価。年明けは個別の筆記試験対策に追われることなく、国公立大対策と共通の「大学入学共通テスト」に集中できます。

1年間にかかる学費

バイオサイエンス学部（臨床検査学コースを除く）

項 目		初年度	2年次以降
入学金		250,000円	—
授業料	前期	625,000円	625,000円
	後期	625,000円	625,000円
実習費	前期	—	—
	後期	—	—
教育充実費	前期	50,000円	175,000円
	後期	50,000円	175,000円
分割合計	前期	925,000円	800,000円
	後期	675,000円	800,000円
合 計		1,600,000円 ^{※1}	1,600,000円 ^{※2}

臨床検査学コース

項 目		初年度	2年次以降
入学金		250,000円	—
授業料	前期	625,000円	625,000円
	後期	625,000円	625,000円
実習費	前期	35,000円	35,000円
	後期	35,000円	35,000円
教育充実費	前期	50,000円	175,000円
	後期	50,000円	175,000円
分割合計	前期	960,000円	835,000円
	後期	710,000円	835,000円
合 計		1,670,000円 ^{※1}	1,670,000円 ^{※2}

※1 初年度、その他納付金として、学生生活支援費50,000円と保護者会費（代理徴収）20,000円が別途必要です。

※2 長浜バイオ大学同窓会より委託を受けて、同窓会費として4年次に20,000円を代理で徴収します。

入試ガイドブック 2027 Entrance Examination Guide Book

Believe
In
Oneself.

Check!

今年度入試のポイント・変更点

- 01 12月に「特待生選抜入試」を新設！
年内にS・A特待生のチャンス
- 02 総合型選抜が3タイプに
得意な方法で挑戦できる
- 03 専願受験者への経済的支援で学びを後押し
- 04 入学金の返還制度あり

自分に合った入試を探そう

どの入試が自分に合っているのか迷っていませんか？

あなたのタイプに合わせて選び、それぞれの特徴やポイントを確認しましょう。

あなたはどのタイプ		この入試がおすすめ		入試の特長		支援制度…P.09へ		さらに詳しく	
自分の強みや高校での頑張りを評価してほしい	実験や体験で力を発揮したい	総合型選抜	実験実習型	個人面接 実験実習	1日の体験実習で「問いを立てる力」を評価。バイオへの好奇心と、実際に手を動かして学ぶ意欲を重視。	入	P.05		
	探究活動の成果を活かしたい	総合型選抜	探究活動型	個人面接 オンライン可	高校での探究活動や研究成果をアピール。レポートと面接で、課題解決に向けた姿勢や論理的思考を評価。	入			
	授業理解力と考察力で勝負したい	総合型選抜	オンライン模擬授業型	個人面接 オンライン可	自宅から受講可能。大学の授業を先取りし、理解力や考察力を評価。遠方の受験生も挑戦しやすい方式。	入			
	基礎学力と実績で評価されたい	学校推薦型選抜	公募推薦	特待生選抜あり 学外会場あり	マーク式試験と調査書で判定。日々の学習成果と得意科目を活かして、年内に合格を確保したい人向け。	入 S A	P.05		
	自分らしさを面接で伝えたい	学校推薦型選抜	女子枠	筆記試験免除 女子枠奨学金	試験は面接のみ。将来の目標や意欲を対話で伝えます。合格者の初年度授業料を25万円減免。	入 女			
学力で特待生を狙いたい	特待生選抜入試	特待生選抜A方式	筆記試験型 学外会場あり	4科目から2科目を選択して受験、自分の強みをダイレクトに発揮でき年内に特待生の権利を獲得。	S A	P.06			
	総合評価で特待生を目指したい	特待生選抜入試	特待生選抜B方式	個人面接(オンライン可) 共通テスト成績利用	年内は面接のみ(オンライン可)を受験、年明けの「大学入学共通テスト」のスコアをそのまま活用し特待生を判定。		S A		
学習の成果を、試験の結果で証明したい	得意科目で合格を勝ち取りたい	一般選抜	前期・後期	特待生選抜あり 学外会場あり	得意科目が活きる科目選択制。理科重視型や高得点2教科型など、自分に有利な判定方式で合格を狙える。	S A ※前期のみ	P.07		
	共通テストの結果を活かしたい	大学入学共通テスト利用入試	前期A・前期B・後期	特待生選抜あり 独自試験なし	本学の個別試験は不要。共通テストの得点のみで判定するため、国公立大学や他大学との併願に最適です。	S A ※前期A、後期のみ	P.08		

入 専願選択者の入学金10万円減免

女 女子枠：初年度授業料25万円免除

S S特待生：4年間国公立並みの学費

A A特待生：4年間で200万円を減免

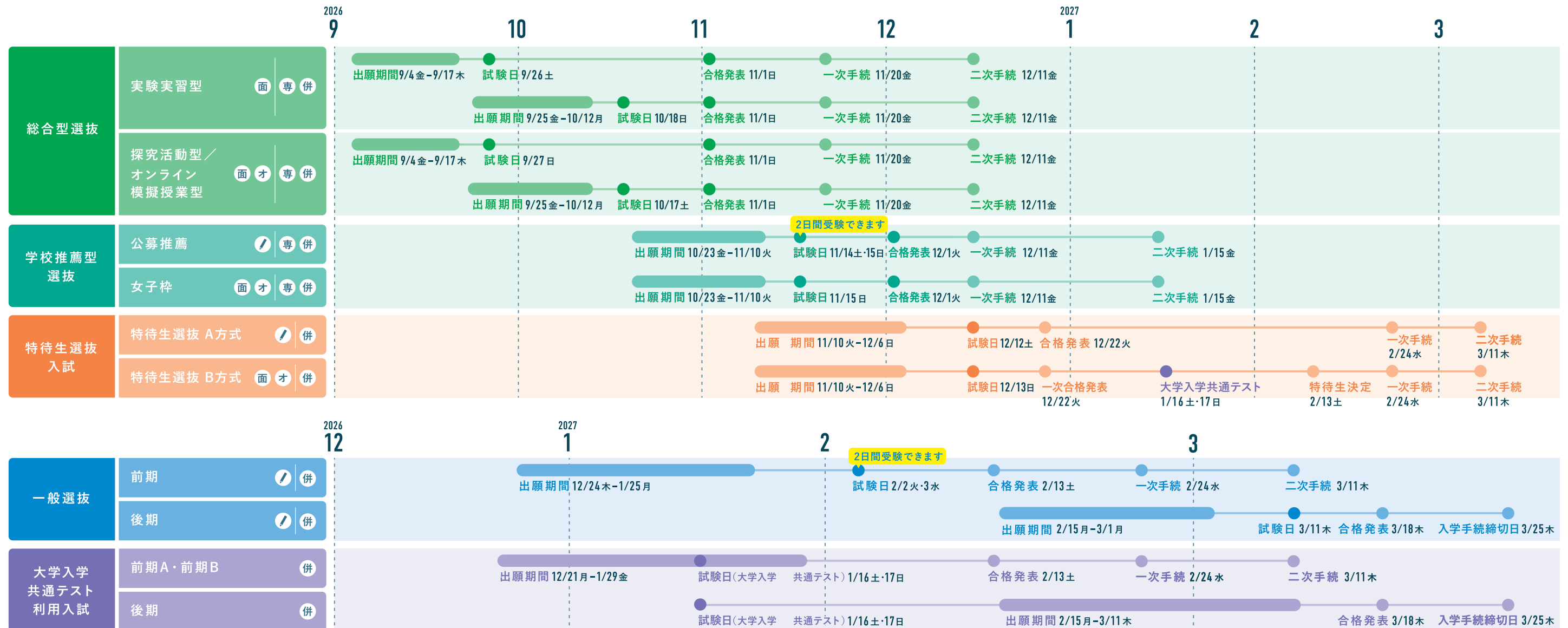
2027年度 入試スケジュール



大切なのは自分に合ったペースで進めていくこと。
無理のないスケジュールを組み立てて、一歩ずつ進んでいきましょう。

🔗 筆記試験あり ② 面接あり ③ オンラインあり ④ 専願 ⑤ 併願

一次手続：入学申込金の納入 二次手続：前期納付金の納入+入学手続書類の提出



Check! 入試のPOINT

自分に合った進め方が見えてきたら、次は具体的な対策です。
それぞれの受験に応じたポイントを確認していきましょう。

総合型選抜

- 成長可能性を重視
テストの点数だけでなく、意欲や興味、将来の可能性を評価。これまでの経験や挑戦を活かせる入試です。
- 3つの方式から選択
実験実習型・探究活動型・オンライン模擬授業型の3方式の中から自分に合うスタイルで受験できます。

学校推薦型選抜

- 基礎力+適性評価
基礎学力試験または面接と書類で判定。バランスよく力を発揮したい人に向いています。
- 特待生選抜も実施
公募推薦の成績上位者を対象に特待生を選抜。学費減免のチャンスがあります。

特待生選抜入試

- 自分に合う方式で挑戦可能
筆記重視のA方式、面接と共テ活用のB方式、得意な方を選べます。
- 年内に特待生の権利を獲得することも
A方式は12月に合格と採用が決定。早い時期に安心感を得て、次の準備に進めます。

一般選抜

- 科目選択で受験可能
2教科型など科目選択制で、得意科目を活かして挑戦しやすい方式です。
- 複数日程で挑戦できる
前期・後期など日程が分かれており、複数回受験で合格のチャンスが広がります。

大学入学共通テスト利用入試

- 大学入学共通テストの得点で判定
大学独自試験なしで合否判定。共通テストの結果をそのまま活用できます。
- 併願に最適な方式
他大学と併願しやすく、受験負担を抑えつつ合格機会を広げることができます。

総合型選抜

専願・併願選抜制

2日間受験可

● 実験実習型

専願併願

面接・書類審査

50点

+

実験実習レポート

50点

=

合計

100点

提出書類

志望理由書、調査書

試験会場

本学

● 探究活動型

専願併願

面接・書類審査

50点

+

探究活動報告書

50点

=

合計

100点

提出書類

志望理由書、探究活動報告書、調査書

試験会場

本学・オンライン

● オンライン模擬授業型

専願併願

面接・書類審査

50点

+

模擬授業レポート

50点

=

合計

100点

提出書類

志望理由書、模擬授業レポート、調査書

試験会場

本学・オンライン

出題範囲
面接・書類審査
実験実習レポートの内容、志望理由などについての質疑応答。また理科(物理基礎・化学基礎・生物基礎から1科目選択)についての口頭試問を行い、勉学に対する意欲や適性を評価します。
実験実習レポート
試験当日に実験実習を受講し、定められた項目に従いレポートを作成します。

出題範囲
面接・書類審査
探究活動報告書についての質疑応答。また理科(物理基礎・化学基礎・生物基礎から1科目選択)についての口頭試問を行い、勉学に対する意欲や適性を評価します。
探究活動報告書
探究活動で取り組んできた内容について、定められた項目に従い報告書を作成します。

出題範囲
面接・書類審査
模擬授業レポートの内容、志望理由などについての質疑応答。また理科(物理基礎・化学基礎・生物基礎から1科目選択)についての口頭試問を行い、勉学に対する意欲や適性を評価します。
模擬授業レポート
オンラインで模擬授業を受講し、定められた項目に従いレポートを作成します。模擬授業は、出願期間中のいつでも受講できます。

学校推薦型選抜

専願・併願選抜制

2日間受験可

● 公募推薦トータル型

専願併願特待生制度

外国語

100点

+

数学

100点

理科

100点

+

書類審査

100点

=

合計

300点

高得点1教科を採用

提出書類

入学希望理由書、推薦書、調査書

試験会場

本学・大阪・名古屋

● 公募推薦ポイント型

専願併願

外国語

100点

+

数学

200点

理科

200点

+

書類審査

100点

=

合計

400点

得点を2倍

高得点1教科を採用

提出書類

入学希望理由書、推薦書、調査書

試験会場

本学・大阪・名古屋

出題範囲
外国語
英語(英語コミュニケーションI・II・III、理論・表現I・II・III)
数学
数学I・A・II・B(数列)・C(ベクトル)
理科
「化学基礎・化学」「生物基礎・生物」から1科目
書類審査
調査書、出身学校長推薦、入学希望理由書
面接(女子枠のみ)
志望理由などについての質疑応答。また、理科(物理基礎・化学基礎・生物基礎から1科目選択)についての口頭試問を行い、勉学に対する意欲や適正を評価します。

● 女子枠

専願併願

面接

50点

+

書類審査

50点

=

合計

100点

提出書類

入学希望理由書、推薦書、調査書

試験会場

本学・オンライン

特待生選抜入試

併願可

2日間受験可

● 特待生選抜A方式

特待生制度

外国語

100点

数学

100点

化学

100点

生物

100点

+

書類審査

100点

=

合計

300点

いずれか2科目の合計

提出書類

入学希望理由書、調査書

試験会場

本学・大阪・名古屋

【A方式】(独自試験型)がおすすめな人

☒ 得意科目を活かして、いち早く特待生を勝ち取りたい人

英語・生物・化学・数学から2科目を選択して受験するため、自分の強みをダイレクトに発揮できます。年内に特待生の権利を獲得できるメリットがあります。

● 特待生選抜B方式

特待生制度

1次

面接

60点

+

書類審査

40点

=

合計

100点

2次

外国語

50点

数学

50点

理科

50点

=

合計

100点

高得点2教科を採用

提出書類

調査書

試験会場

1次: 本学・オンライン
2次: 本学独自の学力試験は実施しない。

【B方式】(面接+共通テスト併用型)がおすすめな人

☒ 学力+高校時代の活動を評価してもらいたい人

☒ 国公立大学との併願を考えている人

年内は面接のみ(オンライン可)を受験し、年明けの「大学入学共通テスト」のスコアをそのまま利用できるため、個別の筆記試験対策の負担を減らせます。

出題範囲
外国語
英語(英語コミュニケーションI・II・III、理論・表現I・II・III)
数学
数学I・A・II・B(数列)・C(ベクトル)
理科
「化学基礎・化学」「生物基礎・生物」
書類審査
調査書、入学希望理由書

出題範囲	大学入学共通テスト
面接・書類審査	
調査書、志望理由などについての質疑応答。また、理科(物理基礎・化学基礎・生物基礎から1科目選択)についての口頭試問を行い、勉学に対する意欲や適正を評価します。	
外国語	
英語(リーディングのみ)	
数学	
「数学I」「数学I,数学A」「数学II,数学B,数学C」から1科目	
理科	
「物理」「化学」「生物」から1科目、または「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」から2科目	

※「大学入学共通テスト理科」の基礎を付した科目は2科目の合計点を1科目として扱います。
※選択すべき科目を2教科・2科目以上受験した場合は、高得点の科目で判定します。
※2次における共通テスト各教科の得点は、50点満点に換算します。

特待生選抜

注目の受験スタイル

A方式

“ 自由な時間配分で
実力を発揮 ”

英語・生物・化学・数学から得意な2科目を選択。120分間を自分のペースで自由に配分できるため、得意科目に時間をかけて高得点を狙えます。

B方式

“ オンラインで完結、
遠方からも挑戦 ”

個別筆記試験はなく、面接と共通テストで判定。面接はオンライン対応のため、移動の負担なく自宅から受験でき、国公立大学との併願にも最適です。

A方式・B方式

“ 一般合格も同時選抜 ”

特待生として選抜されなかった場合でも、成績優秀者を一般合格者として選抜します。

一般選抜〈前期〉

2日間受験可

● 高得点2教科型

特待生制度

外国語	数学	理科	国語
100点	100点	100点	100点

=

合計

200点

いずれか2教科の合計

● 理科重視型

数学
100点

+

理科
200点

得点を2倍

=

合計

300点

● 共通テスト併用型

外国語	数学	理科	国語
100点	100点	100点	100点

+

2教科以上受験 高得点1教科を採用

外国語	数学	理科
100点	100点	100点

=

合計

200点

高得点1教科を採用

提出書類

調査書

試験会場

 本学・草津・大阪・名古屋・三重・浜松

出題範囲
外国語
英語(英語コミュニケーションI・II・III、理論・表現I・II・III)
数学
数学I・A・II・B(数列)・C(ベクトル)
理科
「化学基礎・化学」「生物基礎・生物」から1科目
国語
現代の国語・言語文化・論理国語(いずれも古文・漢文除く)

出題範囲	大学入学共通テスト
外国語	
英語（リーディングのみ）	
数学	
「数学Ⅰ」「数学Ⅰ,数学A」「数学Ⅱ,数学B,数学C」から1科目	
理科	
「物理」「化学」「生物」から1科目、または「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」から2科目	

※「大学入学共通テスト理科」の基礎を付した科目は2科目の合計点を1科目として扱います。
※選択すべき科目を2教科・2科目以上受験した場合は、高得点の科目で判定します。

一般選抜〈後期〉

● 総合評価型

総合問題
60点

+

書類審査
40点

=

合計

100点

● 共通テスト併用型

100点に換算

総合問題	外国語	数学	理科
100点	100点	100点	100点

+

高得点1教科を採用

=

合計

200点

提出書類

調査書

試験会場

出題範囲
総合問題
文章やグラフ、図などを解読し、論理的に考えをまとめる ※記述式
書類審査
調査書

出題範囲	大学入学共通テスト
外国語	
英語（リーディングのみ）	
数学	
「数学Ⅰ」「数学Ⅰ,数学A」「数学Ⅱ,数学B,数学C」から1科目	
理科	
「物理」「化学」「生物」から1科目、または「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」から2科目	

※「大学入学共通テスト理科」の基礎を付した科目は2科目の合計点を1科目として扱います。
※選択すべき科目を2教科・2科目以上受験した場合は、高得点の科目で判定します。

大学入学共通テスト利用入試

● 前期A〈3科目3教科型〉

特待生制度

理科
100点

+

外国語	国語	地歴・公民
100点	100点	100点

高得点1教科1科目を採用

+

数学	情報
100点	100点

高得点1教科1科目を採用

=

合計

300点

● 前期B〈2科目2教科型〉

理科	数学	情報
100点	100点	100点

+

外国語	国語	地歴・公民
100点	100点	100点

高得点2教科2科目を採用

=

合計

200点

● 後期〈3科目3教科型〉

特待生制度

理科
100点

+

外国語	国語	地歴・公民
100点	100点	100点

高得点1教科1科目を採用

+

数学	情報
100点	100点

高得点1教科1科目を採用

=

合計

300点

提出書類

調査書・成績請求票(Web方式)

試験会場

出題範囲	大学入学共通テスト
外国語	
英語(リーディングのみ)	
国語	
国語(近代以降の文章のみ)	
地理歴史・公民	
「歴史総合、世界史探究」「歴史総合、日本史探究」「地理総合、地理探究」「公共、倫理」「公共、政治・経済」「地理総合／歴史総合／公共」から1科目	
情報	
「情報I」	
数学	
「数学I」「数学I,数学A」「数学II,数学B,数学C」から1科目	
理科	
「物理」「化学」「生物」から1科目、または「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」から2科目	

※「大学入学共通テスト理科」の基礎を付した科目は2科目の合計点を1科目として扱います。
※「大学入学共通テスト国語」の国語(近代以降の文章)は、100点に換算します。
※指定科目数以上を受験した場合は、高得点の科目で可否を判定します。

お得な制度を利用して受験しよう！

入試制度のPOINT

POINT 1

検定料減免制度

総合型選抜、学校推薦型選抜、特待生選抜、一般選抜前期では、2日間連続で試験日を設けています。2日連続で受験すると、検定料を2万円割引！

2日連続出願で20,000円減免！

POINT 2

複数学科併願制度

1回の受験で2学科以上の可否を判定します。併願検定料は不要！

※共通テスト利用入試は対象外

2学科以上の判定0円

POINT 3

共通テスト利用入試セット出願

一般選抜と共通テスト利用入試を同時に出願すると、共通テスト利用入試の検定料は無料！

共通テスト利用入試の検定料0円

POINT 4

複数方式判定制度

1回の受験で、公募推薦は「トータル型」と「ポイント型」、一般前期は「高得点2教科型」と「理科重視型」の両方で可否判定が可能！

2方式目の判定0円

※詳細は入学者選抜要項でご確認ください。

入試の成績などで決まる支援制度

入試の成績上位者と専願合格者、女子枠合格者を対象に、学費の一部を減免します。

特待生制度

S特待生制度

国公立大学並みの学費で4年間学べる！

2年次以降の年間学費

535,800円

1,600,000円

通常学費
(2年次以降)

535,800円

S特待生学費
(2年次以降)

535,800円

国公立大学
標準額

4年間で
約400万円
減免

初年次納入金

855,800円

●入学金・学生生活支援費・
保護者会費を含む

A特待生制度

4年間、毎年の授業料を50万円減免！

2年次以降の年間学費

1,100,000円

1,600,000円

通常学費
(2年次以降)

1,100,000円

A特待生学費
(2年次以降)

4年間で
200万円
減免

初年次納入金

1,170,000円

●入学金・学生生活支援費・
保護者会費を含む

※臨床検査学コースでは、上記の金額に加え、実習費70,000円（外部機関での実習費、抗体検査、ワクチン接種費用など）が別途必要です。

対象入試	対象制度	採用人数	選抜方法等
特待生選抜	■特待生選抜A方式	S特待生 18名	合格者全員を採用
	■特待生選抜B方式	A特待生 9名	
学校推薦型選抜	■公募推薦トータル型	S特待生 10名	学科・コースごとに対象入試の成績上位者を採用
		A特待生 16名	
一般選抜〈前期〉	■高得点2教科型	S特待生 16名	
		A特待生 14名	
大学入学共通テスト 利用入試	■前期A〈3科目3教科型〉 ■後期〈3科目3教科型〉	S特待生 若干名	
		A特待生 若干名	

※公募推薦と一般選抜は得点率が70%以上、共通テスト利用入試は得点率が60%以上であることが必要です。
※進級時の継続には成績基準があります。

女子枠奨学金

女子枠合格者全員

初年度授業料を25万円減免

バイオの未来を担う女性研究者の育成を支援します。入学時の経済的負担を軽減し、女子学生が専門性を高く磨ける環境を整えるための制度です。

専願合格者入学金減免

専願合格者全員

入学金を10万円減免

本学を第一志望とする強い意欲を評価し、早期合格者のスムーズな入学準備を後押しします。入学金負担を抑え、充実した学生生活への一歩を応援します。

入学金返金制度

- 併願制の入試方式で合格後、指定の期日までに入学辞退を申し出た場合は、入学金を全額返還します。
- 入学金の「二重払い」を解消し、学生や家計の負担を軽減します。



受験生が気になる入試の疑問

初めての入試は、不安や疑問がつきもの。
多くの受験生が気になるポイントをQ&A形式でわかりやすくご紹介します。

Q1.

学力や実績に自信がなくても
受験できますか？

「今はまだ成長の途中」という段階での挑戦も大歓迎です。総合型選抜では、これまでの成績だけでなく、あなたの「学びたい気持ち」や「バイオへの興味」を重視します。自分だけの強みを一緒に見つけましょう。

Q2.

総合型選抜では、具体的に
何が評価されますか？

「知識の量」だけでなく、「学ぶ姿勢」や「成長の可能性」を評価します。高校時代の活動や将来の目標など、あなた自身が「どう学ぼうとしているか」という意欲を多角的に見つめるのが本学の入試の特徴です。

Q3.

面接の準備が不安です。
コツはありますか？

面接は試験官との「対話の場」です。難しい専門用語や完璧な回答は必要ありません。入学後の学びに対する意欲や、現在の興味をありのまま自分の言葉で伝えてください。あなたの可能性を丁寧にお聞きします。

Q4.

入試の対策講座などは
開催されていますか？

8/23に総合型選抜の対策講座、11/22に筆記試験対策講座を開催します。書類の書き方や面接のコツ、有名塾講師による無料の試験対策など、合格に直結するポイントを詳しく解説するのでぜひ活用してください。

Q5.

文系科目の得点だけで
受験することは可能ですか？

英語と国語で受験できる方式を用意しています。また、生物などの得意科目がある場合は、理科の得点を2倍にして判定する「理科重視型」など、自分の強みを最大限に活かせる方式の選択が可能です。

Q6.

文系出身で、入学後の授業に
ついていけるか不安です。

「学習支援センター」に常駐する先生や、先輩が教える「びあサポ」など、手厚い個別サポートが本学の魅力です。生物や化学の基礎から丁寧に教わることができるため、文系出身者も安心して学べる環境です。